

## 新玉地区タウンミーティング(要約)

テーマ：新玉地区のまちづくりについて

平成30年5月22日（火曜日）

【市長】 皆さん、こんばんは。今日は、平日の夜で、いろいろとご予定があった方もいらっしゃるのではないかと思います。お集まりいただきまして、ありがとうございます。新玉地区タウンミーティングの開催にあたり、新玉公民館館長をはじめ、地域の皆さま方のご協力をいただき、心から感謝を申し上げます。このタウンミーティングですが、私が市長に就任させていただいてから開催しています。松山市は、旧北条市、旧中島町を合わせて41地区に分かれますけれども、どちらが楽かという、市役所で皆さんが来られるのを待っているほうが楽です。でも、果たしてそれでいいのでしょうか。我々のほうから各地区に出向いて、皆さんの声を聞かせてもらい、魅力は伸ばす、課題は減らしていくというタウンミーティングを開催しようと思いました。市長の任期は1期4年、48カ月ですから、1カ月に1回のペースで回っていこうと思っていたのですが、好評になりまして、結局、1期目で地区別タウンミーティングを二巡りいたしました。おかげさまで2期目に入って、地区別に加えて、人生の先輩方や子育て世代の方、大学生や専門学校の方々に集まっていただく世代別タウンミーティングを始めました。また、商店街の方々や農業の分野の方々に集まっていただくなど、職業別タウンミーティングもしています。新玉地区では、今回3回目のタウンミーティングになります。私は皆さんの顔を見ながらできるだけ話をしたいので、立った状態でお話をさせていただきますが、各課の担当職員は手元に細かい数字が入った資料がありますので、座ったままのご説明になりますこととお許し願えたらと思います。今日、できるだけこの場でお答えをして帰りたいと思いますけれども、中には国と関係をする案件や愛媛県と関係をする案件ですとか、また、財政的によく考えなければいけないものもあります。そういうものは、ここでいい加減な返事をして帰るわけにはいきませんので、いったん持ち帰らせていただいて、1カ月を目途に必ず返事をするというのが松山市版のタウンミーティングです。今日は、皆さんと新玉地区について、有意義なタウンミーティングができればと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。

【司会】 次に、新玉地区での取り組みについて、市長からご説明いたします。

【市長】 1回目のタウンミーティング、2回目のタウンミーティングをしていますので、新玉地区からどんなご意見をいただいたか、このように対応をさせていただきましたという代表例をご紹介します。まず、今から6年3カ月前の平成24年2月に開催をさせていただいた1巡目のタウンミーティングでは、「市道新玉27号線は通学路でもあるため、旧宮前川を利用して、できるだけ早く拡幅してほしい」というご意見をいただきました。市道新玉27号線は、この写真を見たら大体お分かりになるかと思いますが、環状線から西に来たところです。新古照橋から鬮目（くじゅめ）橋の下流までの、

およそ330mの区間を拡幅することにし、平成25年度に工事に着手しました。道の中には、水道管やガス管、NTTの電話回線や下水道などがあります。それら地下埋設物の移設の作業がありますので、全体を3区間に分けて工事をしまして、平成28年11月末に道路の拡幅工事が完成しました。現在は、新たに歩道が設置され、子どもたちが安全に通学できるようになっています。

子どもたちの安全・安心はとても大事なことです。松山市の通学路の安全対策についてもご紹介させていただきます。6年ほど前になりますが、平成24年4月に京都府亀岡市で、通学中のお子さんや保護者の列に、一晩中、車を運転していた若者の軽自動車が入り込んで、3人の方がお亡くなりになり、7人の方が重軽傷を負うという事故がありました。松山市ではそんな不幸な事故があってはいけないということで、通学路の緊急合同点検をさせていただきました。道路は、国道、県道、市道、私道、農道もありますから、国・県・市の職員が出てきて、警察も出てきてもらって、PTAの人にも出てきてもらって、緊急点検をさせていただきました。新玉小学校の通学路では、先ほどの市道新玉27号線への歩道の設置を含め、横断歩道の塗り直しや歩道部分のカラー化など、危険箇所4カ所のハード対策を行っています。そして、5年経過すると道路の状況も変わりますから、平成29年度に新たに総点検をさせていただいて、危険箇所を1カ所ずつ対策していつているところです。例えばガードレールをずっと歩道につけると、安全性は高まりますが、中には沿道の家が出入りをしにくくなるということもありますので、すべてハード対策ができるわけではありません。そのようなところは地区のご協力をいただくかたちになりますけれども、地元の方々に見守り活動をしていただくとか、ハード、ソフト両面を組み合わせながら子どもたちの安全を確保していこうと思っています。

次に三つ目ですが、平成26年1月の2巡目の新玉地区タウンミーティングでは、「南江戸公園の遊具側（北側）にもトイレを設置してほしい」というご意見をいただきました。公園のトイレは、費用や設置スペースの関係から、原則として1公園に1カ所というふうに配置をしていて、南江戸公園北側を利用される方には、木の連絡歩道橋を通過して南側にあるトイレの利用をお願いしていました。平成26年1月のこのタウンミーティングを受けて、北側公園については遊具が多いので、利便性を考慮して、平成27年6月に簡易な和式トイレを設置しました。翌年の平成28年7月には、小さな子ども連れの方にも利用可能な多目的トイレなども設置しました。地元の方はご存知だと思いますが、北側と南側を結ぶ木製の連絡歩道橋が、耐用年数を経過し、また、耐震基準を満たすことができなくなりました。地震のときに壊れてしまったのでは新空港通りが通れなくなってしまうので、公園利用者や新空港通りの通行車両への安全確保を最優先に考えて、撤去することになりました。この連絡歩道橋の撤去によって、公園が不便になってはいけないので、平成28年度末に、車6台分の駐車場と駐輪場を整備しました。そして、今年度には、公園利用者からの要望を受けて、17台分の駐車場の増設を予定

しています。これにより、車は北側には23台分止められるようになります。もともとあった南側は車15台分ですから15+23で38台分が止められるようになります。小さなお子さま連れの方や高齢者の方も、さらに利用しやすい環境づくりに取り組んでいきます。今後も多くの方々に公園をご利用いただければと思っています。

さて、本日のタウンミーティングですが、まちづくり協議会さんとお話をさせていただいて、「くらしの安全・安心」「魅力あふれるまちづくり」「その他」の三つのテーマでさせていただこうと思っています。今日でタウンミーティングは109回目を迎えるのですが、いつも言っていることがあります。まず、「地域の皆さんでできること」というのがあります。また、二つ目に「行政がやらなければならないこと」があります。三つ目に「地域の皆さんと私たち行政が一緒になってできること」があります。この三つがあるかと思しますので、皆さんといい意見交換ができればと思います。

【司会】 では、担当の自己紹介をお願いします。

【市民部長】 皆さん、こんばんは。市民部長の津田と申します。タウンミーティングの所管課であるタウンミーティング課、まちづくり協議会を所管している市民参画まちづくり課、そして人権啓発課、市民相談課、市民課等、直接、市民の皆さんと接する窓口を担当しています。どうぞよろしく願いいたします。

【都市・交通計画課長】 皆さんこんばんは。都市・交通計画課の丹生谷と申します。私どもは都市計画や交通計画、また放置自転車などの対策を行う課です。今日はよろしく願いいたします。

【保健福祉政策課長】 皆さん、こんばんは。保健福祉部副部長の石丸です。保健福祉部は、国民健康保険、介護保険、高齢者の福祉、障がい者の福祉、生活保護や、保育園、子育て支援、保健所も所管しています。どうぞよろしく願いいたします。

【消防局総務課長】 皆さん、こんばんは。消防局総務課長の金澤と申します。消防は火災、救急救助、それと消防団や自主防災組織、女性防火クラブとの連携を強めるために取り組んでいます。どうぞよろしく願いいたします。

【男性】 町内会長をしています。私たちのまちは、非常に交通量の多いまちで、特に最近旧空港通りからフライブルクに抜けるところが抜け道になっています。現在、香川銀行の北側と生石集会所の西側に一時停止線をつけてもらいましたが、非常に交通量が多いのと子どもの通学路になっていますので、この場所をカラー塗装できないでしょうか。特に、香川銀行の前は私が見ただけでも、この2、3カ月で3件の交通事故が起こっています。子どもが巻き添えにならないように、よろしく願いいたします。

【市長】 香川銀行さんの前は、平成28年以降、物損事故が6件起こっていると市役所でも把握しています。さらなる安全対策が必要であると思っていますので、例えば、「止まれ」というのを強調する表示ですとか、停止線の引き方や横断歩道の位置の見直しや交差点部分のカラー舗装など、大きくいうと三つの方法が考えられると思います。

例えば、「この道は50 km/hまでで走りましょう」とか「ここは停止線ですよ、止まりましょう」という規制をするのは警察の仕事になります。市の仕事ではないのでやりませんというのではなくて、停止線の引き方や、横断歩道の位置の見直しというのは警察の仕事で、交差点部分のカラー舗装は市道であれば、市の仕事になります。子どもたちの安全・安心に関わる事柄になりますので、学校関係者の方々、地元の関係者の方々、警察の方と一緒に協議して決定していければと思っています、協議の場はできるだけ早く持ちたいと思っています。また、お話をさせていただいたらと思いますので、よろしくお願いします。

【男性】 私は、町内会の副会長をしています。よろしくお願いします。四国四県、高松、徳島、高知、松山の中で、JRの駅が一番みずぼらしいのが松山駅。レトロといえればレトロですけれども、比較すると、最もみずぼらしい。ただ、松山空港は非常に立地条件が良くて、市街地まで直線で6 kmくらいだと思います。高松は南の方の山の中にあるし、徳島は松茂の自衛隊の管制下に入っているし、高知龍馬空港は名前は高知とついていますけども南国市にあるということで、非常に空港と市街地が離れています。松山は、空港と市街地、また、道後温泉も近いということで、これを観光や松山市の発展に使わない方法はないと思うんです。先般、松山市内と空港を結ぶ電車の3ルートが検討中だということが、新聞に出ていました。一つは空港千舟線を主体とした線。もう一つは旧空港通りを主体とした線。それと、南へ回って伊予鉄の余戸駅か鎌田駅の方までつなぐ、大回りの線。どれも事業費は大きな差はないと出ていましたが、私たちは民間企業の出身ですから、事業費が大差ないということは理解できるんですけれども、そこに工期の比較が何も出ていません。我々、民間企業の出身であれば、1,000億円投資するのに10年かかってやると、年間100億円ずつですけれども、回収できるのが10年後から。5年でやると、200億円ずつ投資しても、6年目からもう回収できるということで、必ず工期を設定して、工期を守って事業をしています。ところが、3ルート提示されて、事業費が変わらないと言われても、「じゃあ工期はどうなの」ということが、何も書いていません。実際には、松山市役所だったら、この辺のことはつかんでいっていると思いますけれど、変に工期を提示して、それで遅れたらどうするのかということで、公開しないのかもわかりませんが、この世の中ですから、公開しないのではなくて、やっぱり透明性を持って、ガラス張りでやっていただきたい。

なぜ、空港と松山市内を結ぶ電車にこだわるかというと、私の子どもが全員東京にいますので、先般、東京から帰ってきたときに松山空港から個人タクシーに乗りました。日中の料金で、三番町まで通常走ったら2,500円くらいなのに、3,500円くらい取られました。私がだまされたのが悪いのだと思いますが、個人タクシーの中でもたちの悪いタクシーがいて、メーターを改造して高く請求する者がいます。私もそこでけんかをすればよかったですけれども、結婚式の帰りだからということで、けんかせず

に払ったんです。こういうタクシーに出会ったら、私は松山に住んでいますから、これからは松山に住みますけれども、よそから観光に来られた方はもう二度と松山に行きたくないと思われそうです。それを解消するために、公共交通機関である電車を延伸して、電車を延伸するにしても、工期が最も短縮されると思われる空港千舟線をメインに検討をお願いしたい。なぜかという、旧空港通りや余戸回りは、新規のルートになり、用地交渉に多額のお金と期間がかかると思います。私の素人考えでは、空港千舟線だと中央分離帯を全部取っ払って線路を引き、幅が足りないところは単線でいき、トンネルの中は、今歩道がありますけれども、歩道専用のトンネルを1本抜いて。工期を考えるとどのルートが有利かというのがすぐわかると思いますので、手早くやってもらいたい。今日、愛媛新聞に出ていましたけれども、花園町の4車線から2車線化は7年間もかかっているんですね。あれだけの事業でも7年もかかるんですから、電車の延伸で10年もかかっていると、私たちはもうこの世には生きていない。生きていないような話をしてもしょうがないと思うんです。東京オリンピックまでに間に合わせてほしいとは言いませんけれども、少なくとも5年とかそういうオーダーで、電車を空港まで通していただきたい。そうしないと、松山は、松山空港が市街地に近くて道後温泉もあるという利点を生かせないと思いますので、検討をお願いしたいと思います。

**【都市・交通計画課長】** 松山空港への電車の延伸については、愛媛県が平成27年度に松山空港アクセス向上検討会を立ち上げて、松山市もその検討会に参加して、市内から空港までのアクセスの検討を重ねてきました。そして、今年の3月に最終報告がなされました。検討会では4つのルートについて、検討してきました。その結果、各ルートとも、かかる費用の大きさに対して、得られる整備効果があまり大きくないということがわかりました。一方で、空港利用者の増加や沿線に住まわれている方の増加など複数の要件を全て満たせば、将来的に実現する可能性があるということも確認されました。そして、検討会としては、最終報告を終えたため解散しますが、今後は愛媛県が設置しています地域交通活性化推進会議で課題に関する整理や検討を行うと聞いています。工期等については、確認させていただきたい部分もありますので、持ち帰らせていただいて、後日、改めて回答をさせていただければと思います。

**【総合政策部副部長】** 総合政策部の石井です。工期については、用地買収が必要などところは時間がかかると思います。どのルートでいくかとかは、いろいろな要件を満たさない採算面が合わないの、実際に具体的なことが出てきたらスケジュールの検討に入っていくということになるかと思います。

**【市長】** 私は今、市長をさせていただいて7年半になりますが、ガラス張りです。なぜかという、議員やマスコミの方が常に見ていますので、まず隠しようがないというところがあります。何かを問われた場合に、きちんとこういうふうに検討してきましたよというのを出さないといけませんので、おかしなことをやっているというのは、ないと思っていただけたらと思います。例えば、広島に渡って宇品の港がありま

すが、あそこまで電車が来ていますね。電車は定められた時間に着いて、排気ガスも出しませんし、大勢の人が同じ時間に移動できますから、すごく魅力的だと思います。福岡空港か松山空港かと言われるくらい、松山空港はすごい中心部に近いです。福岡は地下鉄がいますから、うらやましいなと思いますが、皆さんのお金を使わせていただいて、空港に電車をつけてもそれだけお金をかけたのに、どれだけメリットがあるのか考えると、今はちょっと厳しいというのが正直なところです。先ほど申し上げたように、将来、この空港利用者がますます増えて、また、空港まで電車が伸びたその沿線人口が増えるとか、ますます速く着くとかだと、事業化できる見込みがありますが、一方で、電車をつけるとノンストップとはいかないんですよね。松山空港から次に停まる駅が市駅ということにはならないと思います。例えば、空港通りを通るんだったら、どこかに停留所を設けないといけないので、あまりリムジンバスと速さが変わらないんです。私も民間出身ですので、坊っちゃん列車が来る空港だとお客さんもだいぶ来てくれるんじゃないかなと思うんですけども、今はそのような状況です。

それから、タクシーのことは私も聞いて憤りましたので、そういう機会があったらぜひともおっしゃってください。タクシーの協会に言うことができます。そういう人をなくしていかないと、観光で来た方が迷惑を被る可能性があります。本当に嫌な思いをされたと思います、もし、今度そのような目に合われましたら、松山市役所に市民相談課もありますので、遠慮なく言っていただいたら動いていきます。

**【女性】** 古照に住んでいます。1回目の新玉地区タウンミーティングの後、新玉27号線の工事をさせていただいて、私たちの地域はとても良くなって、子どもたちの通学も良くなりました。でも、一番西側の鬮目（くじゅめ）橋のところですが、車道がちょっと狭いんです。私も車を運転していますが、とても下手なのでいつ車と衝突するのかわと思うくらい狭くなっているの、あそこの左右にある歩道の片方をちょっと減らしていただくとだいぶ助かるので、検討していただけたらと思います。

**【都市・交通計画課長】** 早急に現場を関係者と確認させていただければと思います。

**【市長】** 1カ月を目途に返事を必ずいたしますので、現場を確認させていただいて、どういうことができるのか、お答えをさせていただいたらと思います。前は狭かったですけれども、あそこをバスが走って行くんですよ。細いところだと車をぶつけそうになることがありますかね。また、1カ月を目途に必ずお返事をさせていただきます。

**【女性】** 今、車の数が増えたと思うんですけども、済美高校の横の交差点は電車が通り始めると7分ぐらい待つ時間があつて、ちょっとイライラするときがあります。電車を高架にできたらいいなと思ったりしますが、いかがでしょうか。

**【市長】** 私も松山生まれ松山育ちなので、済美高校の電車のところは、待つことがよくあります。鉄道との交差の交通渋滞は、立体交差にするのが一番の解決策になるんだ

ろうと思っています。できるだけ分かりやすく言いますが、済美高校のところを高架にすると松山市駅は2階に郊外電車が入っていくかたちになります。平成2年に松山大学経済学部の教授、松山市の代表、JR四国の社長さん、愛大工学部の教授、農協の会長さん、四国地方建設局長、NTTの代表の方、商工会議所の会頭、松山大学経済学部の教授、伊予鉄道の社長さん、愛媛県の副知事、四国運輸局長、JAえひめ女性組織協議会の顧問、合計13名の方が集まられて、松山鉄道高架検討協議会がつけられました。そして、JR予讃線を高架にするのか、それとも伊予鉄道3線を高架にするかを検討しました。その結果、道路交通の円滑化、駅前広場の再整備、周辺市街地の整備など、さまざまな波及効果が期待されるJR予讃線を優先して整備を進めていくということが、平成12年に決定されて、現在、愛媛県が高架化を、松山市が松山駅の周辺整備を担当して、連携しながら進めています。

この時に調査をしたら、済美高校のところを立体にすると、伊予鉄道さんの工事になって国や県や市も補助をしてくださいと求められると思いますが、平成5年の調査で408億円かかるとの試算が出ています。なんでそんなにお金がかかるのかというと、高架にすると伊予鉄道さんの線路の上につくるのだから、別にお金はいらないでしょうと思ったんですけども、やはり用地を確保する必要があります。当然、済美高校のところ立体交差なれば、松山市駅の2階に高浜線が行って、横河原線も2階から1階に降りていくというかたちになりますから、結構なお金がかかるということです。

今、ニュースでよく聞かれると思いますが、国は1,050兆円という借金を抱えています。国から地方には、地方交付税交付金とか国庫支出金というかたちでお金が回ってくるんですけども、仕送りと似たところがあって、親元が苦しかったら地方に回ってくるお金が増えるとはとても考えにくいです。また、今、少子高齢化で、子どもの数は減っています。将来、働いて税金を納めてくれる人の数は減っています。私もいずれそうなりますけれども、高齢になったらお世話になる人の数は増えていくんです。限られたお財布の中で、国からの配分金も減ってきて、働いてお金を納めてくれる人が少なくなる一方で、お世話になる人が多くなるので、出ていくお金は増えます。

ですから、今、ものすごく財布とにらめっこしながら物事を進めています。人生の先輩方が一生懸命に今の松山、今の愛媛、今の日本を築いてきてくれて、そんな方々が粗末にされるような時代はおかしいので、人生の先輩方へのケアもしながら、また子育ての環境が整わないと、ますます子どもが生まれにくくなりますので、保育所を増やすとか児童クラブを増やすとか、そういう取り組みもしているところです。限られた財布の中で、今、一生懸命やりくりをしながらやっていますので、済美高校のところの鉄道の高架化をするのは、費用対効果からするとちょっと厳しいというのが現実で、我慢できるものは我慢していただきたいというのが、今仕事をさせていただいている私の気持ちということになります。私も高架ができれば、すごく行き来がしやすくなると思いますけれども、ちょっとお金が厳しいというのが現実です。これを言うと皆さんの手が拳が

りにくくなるんですけれども、皆さんの声を集約して、市政に当たっていかないといけないので、皆さんの声は聞きたいですから、遠慮なく手を挙げて言ってください。

【男性】 新玉地区の民生委員をしています。高齢者の方から、2件ほど相談があったので、その件をお聞きします。高齢化が進んでいるのは全国的な傾向ですが、その中で、高齢者で身寄りのない方も当然、増えています。そういった方が病気になって、入院しなければいけないときに、ほとんどの病院で保証人とか身元引受人が必要です。万が一、身寄りのない方が、入院費が払えないとか不幸にも亡くなったときのために、病院では身元引受人がないと入院できないということで、私はどうしたらいいのかという相談を受けたことがあります。いろいろ調べてみて、民間の制度では、確かにそういった身元引受人を代行してもらえる制度があります。ただ、これも全国で1件あったようなんですけれども、その企業が破たんしてしまって、結局、預けていたお金が戻らなかったという事例もあって、東京都のどこかの区がやっているというのはテレビで見ました。公的な機関で全部お金も賄えとは言いません。ある程度の費用の自己負担があってもいいと思うので、そういった制度を検討いただけないのかというのが質問です。

【市長】 これは、国の動きがありますよね。

【保健福祉政策課長】 現在、身寄りのない高齢者の方が、病院や福祉施設等に入られるときに、身元保証人を求められることがあります。これについては、厚生労働省が調査研究を行っているところですので、この調査結果に基づいて、今後、必要な対策に取り組んでいきたいと思っています。また、任意の後見制度というものがあって、例えば、十分な判断能力があるときに、その制度を使っていただいて、支援をする契約を結んでいただくという制度がありますので、利用されるのも一つの手法かなと思います。社会福祉協議会にも松山市の権利擁護センターがありますので、そちらにもご相談いただければと思います。

【市長】 民生児童委員さんは地域のお世話役をしていただいて、本当に活動に対して心から敬意を表したいと思います。ありがとうございます。先ほど、保健福祉政策課長から申し上げたように松山市の社会福祉協議会などにご相談いただけたら、任意後見制度というものもありますので、ご利用いただければと思います。今、皆さんに声を挙げてくださいと申し上げましたが、高齢化してきて身寄りのない方も当然いらっしゃいます。これは松山や愛媛だけの話ではなくて、全国どこでもそうなんです。全国どこでもそうだったら国がやらないかん仕事です。国がしっかりと現状を把握して、制度をつくってくれたら、日本全体が助かります。国のやるべき仕事、県のやるべき仕事、市町村のやるべき仕事があるんですけれども、皆さんが声を挙げないと何も変わらないので、どうぞ遠慮なくおっしゃってください。

【女性】 うちの町内の古照は、この間まで廃油を集めてくれていましたが、今年から

なくなりました。私は、今、車を運転しているから自分で集めているところに持って行くことができますが、だんだんと高齢化していきますので、持って行けなくなります。ごみカレンダーを見たら、月に1回は空いている日がありますけれども、そのときにも市で廃油を回収してもらえないかと思うんです。高齢者で行けない方や、買い物だけでも大変な方もたくさんいますので、できたら回収していただけたらありがたいです。

【市民部長】 いつ頃まで廃油を回収されていましたか。

【女性】 うちの町内は3月までしていました。

【市民部長】 今年の4月からなくなったということですね。

【女性】 この校区ではしていなかったと思います。

【市民部長】 古照の方だけされていたんですね。

【女性】 うちの町内はしていたんですけど、よその町内はしていなかったと思います。皆さん大変だと思いますので。

【市長】 廃油というのは、天ぷらなどを揚げた廃油ですか。一度持ち帰らせていただいて、1カ月をめどに回答させていただきます。

【男性】 先ほど、市長さんからの回答で、事業を起こすために費用対効果も重要ということでしたが、先般、7年間もかけて花園町が4車線から2車線に変わって、車に乗る者からしたら、4車線が2車線に変わってなぜいいのかと。花園町通りの東側の商店は、もともとあった1車線分がテントを張れば自分ところの店舗と同じように営業に使えると、大口納税者のいる花園町は結構、市に対して発言力があるのか、我々みたいにマンション住まいのサラリーマンのOBは発言力がないのかよくわかりませんが、花園町の4車線から2車線化はどういう費用対効果を見込んでされたか、教えていただけたらと思います。

【市長】 交通量調査をさせていただくと、25年前だったでしょうか、たしか一日に1万5,000台通行していたのが、直近の数字だと1日7,500台。以前に比べると車の通行量は半分になってきています。公共交通機関の非常に便利なところです。できるだけ分かりやすくお話をしようと思いますが、花園町通りは松山市内で最も幅の広い通りです。なぜ幅が広いかというと戦後復興でできた通りだからです。花園町通り、平和通り、大手町通りが幅の広い通りです。大手町通りは県道です。平和通りはきれいになっていて、句碑もできて、歩く人と自転車の人が分かれています。交通量調査をして、警察とも話をさせていただいて、左車線、右車線、右折レーン、左折レーンをちゃんとつけば、渋滞は起きなくなるというデータも出ていました。皆さんは昔の行政は水道工事をして、ガス工事をして、上水道工事をして、下水道工事をしてというイメージがあるかもしれませんが、できるだけ一度にやろうとします。花園町通りは東側のアーケードが非常に古くなってきていて、地元の方々も高齢化して、地元だけではどうしようもないところまでできていました。また、NTTさんの電線の地中化工事が入るとき

でもあったので、このときにさせていただきました。事業というのは、まず現地に説明に行き、説明させていただいて計画をつくっていきますので、工事が7年かかったわけではないんです。自転車とはっきりと分けて、もっと歩く人に配慮をさせていただいたまちづくりをしようと考えました。これからますます高齢化してきますと体が不自由な方も増えてくるので、そういった方が家で閉じこもるよりか、できるだけ歩いていただいたほうが健康にもつながるとお医者さんからも伺っています。車道を縮めた分、歩く人にもっと歩きやすく、自転車道と分けて整備をさせていただきました。また、市駅の近くで、自転車が乱雑に置かれていますから、自転車置き場もつくりました。皆さんに歩いていただきたい、そして歩くとウインドウショッピングといいまして、お買物にもつながっていきます。歩いて顔なじみになると、元気ですか、と会話するようになって、コミュニティにもつながっていきます。そういったことから花園町通りの空間改変をさせていただいたわけです。松山市内の非常に目抜き通りである花園町通りの東側のアーケードがずっとあのままだったらどういう印象だったかなと思います。もう更新の時期を迎えていましたので、健康の面、つながりの面、賑わいの面、そういったことから花園町通りを空間改変させていただきました。おかげさまで今日の愛媛新聞にも出ていたけれども、全建賞という建設関係の賞をいただきまして、国交省道路局の廊下には花園町通りの写真が飾られているくらい全国でも注目されている案件です。ご理解をいただけたらと思います。

**【男性】** 私は堀江の方にも別宅があって、そこから西堀端を通過して南堀端へ出て、農協会館のところから花園町へ入って、県病院に通院するんですけども、家を7時頃に出て、7時半前くらいに南堀端から農協会館のほうへ右折するんですが、もとの四車線のときは簡単に入れたんですけども、二車線化されたために、路面電車の通過と対向車の通過を待っていると、一回では右折できずに時間帯によっては二回三回待ちになる場合があります。後ろから追突されるのを気にしながらやらないといけないので、机上検討だけではなくて、実際に車が走ったらどうなるかというのを検討されて、四車線から二車線にするなら、ここだけは四車線残さなければいけないというところを検討したうえでやっていただかないと。車線の引き方ですが、入り口だけでも四車線にできるんだったらお願いしたいと思います。

**【総合政策部副部長】** 四車線にするのは難しいと思います。事前に社会実験をしまして、右折レーンをとるかなどということは社会実験の結果を見て、対策は警察と話しながりました。言えるとしたら、信号の青の時間です。そういう時間の調整というのはできますので、警察と話してみたいと思います。

**【市長】** 平日の7時半ごろですか。

**【男性】** 私がいつもよく通る時間帯は、平日の7時20分から25分ごろですから、まだラッシュアワーになる前でその状態です。

【市長】 わかりました。平日の7時20分から7時25分ごろで、場所は農協会館のところですか。

【男性】 そうです。南堀端から農協会館、市駅のほうに入る、電車が市駅のほうからくる電車と松山駅と道後温泉を結ぶ電車の交差点のところですよ。

【市長】 タウンミーティング後に警察に現状を伝えて、信号の秒数を変えたという例もありますので、お困りの点は教えていただけたらと思います。

【総合政策部副部長】 市役所でも、その時間帯に現地に出向いて確認をさせていただきたいと思います。

【女性】 新玉公民館は、中央公民館と一緒にいるので、多くの人が入り出があります。ふれあい広場などでお子さんが来るときに自転車をどうしても止めたいときがありますが、歩道や歩道橋の下に本当は止めてはいけないかもしれませんが、仕方なく止めている状態です。通行の方に申し訳ないと思いながら、行事があるときは、重い荷物を持ってきたりする方もいるので、どうしてもこの前に止めたいんです。土地的にも不可能かなとも思いますし、コミセンが近いので、そこに止めたらと言われそうですが、何かご意見があったらお願いします。

【市民部長】 現状でお答えできることだけお答えして、あとはまた正確にお答えいたします。今も多分ご利用されていると思いますが、大きな会合があるときは新玉小学校さんをお願いして開放していただいているのではないかと思います。私は、この公民館ができたときに公民館主事をしていまして、こういう状態で大丈夫かなと思いながらやっていたのですけれども、自転車置き場と言われますと、数台くらいしか置けないような現状です。土地を用意するほどの余力があるのかどうかも含めて、私から教育委員会に伝えて正式な回答をしますので、よろしくをお願いします。

【市長】 ご近所の平地で、貸してくれるところがあれば一番いいんですけどね。かつて石井支所・石井公民館で車が止めにくいという話があって、すぐそばに民間の駐車場があって貸してもらえということになりました。もちろん月々のお家賃を払わせていただいて駐車場を借りさせていただいたんです。ですので、どんなことができるか持ち帰らせていただいて検討させていただいたらと思います。

【市民部長】 コミュニティセンターには駐輪場が若干あるので、歩くと5分以上かかりますけれども、可能ならばその利用も考えていただければと思います。

【市長】 歩道橋があって、学校やコミセンがあるのは分かっていますが、私もできるだけ近くに止めたいという気持ちはよく分かります。いい知恵があればなと思います。ちょっと持ち帰らせてください。

【男性】 サンルートの前あたりのJRの再開発のことにも関わってくるんですが、非常に踏切信号が長いんです。伊予鉄さんと比べたらJRが特に長いんです。まだ来ない

のではないかなと思うときから遮断機が下りてしまって通れない状況です。JRは急には変わらないでしょうが、例えば今度の開発のときには線路を上や下にもっていくとかできるのかお聞きしたいです。

【市長】 JR松山駅が高架化することによって遮断機はたしか8カ所なくなります。JRさんの踏切はなぜ伊予鉄さんより長いのかなと思っていましたが、JR四国さんに確認したら、踏切の場所によって遮断時間が違うのだそうです。踏切が特定できれば、遮断時間やその理由も個々に聞けるということですが、ここでは一般論でお答えをさせていただきます。電車の速度は車種によって違いますが、特急の場合、時速約130キロで走っているそうです。踏切の中で何かトラブルがあったときのために、この速度の電車が安全に止まれるタイミングで遮断機が下りないといけないということで、踏切から一定距離離れた地点を通過するときに遮断機が下り始めるように設定されているのだそうです。速度の遅い電車が通過する場合も同じタイミングで遮断機が下り始めるということで、この場合は遮断機が下りても電車が通過するまでの時間が特急よりも長くなってしまうということだそうです。伊予鉄の電車は特急が走行していないため、ブレーキが効き始めてから停止するまでに走行する距離が比較的短いことや電車間の走行速度の違いが少ないことから、JRと比べると遮断時間が短くなるのではと考えられます。安全に関わることなので、遮断時間をむやみに短くすることはできないと思いますが、一方で特に渋滞の著しいまちなかの主要な区間は、踏切による時間のロスやアイドリングによる環境への負荷、電車との接触事故など、さまざまな面で問題がありますので、今、鉄道高架事業に取り組んでいるところです。もしよろしければ、どこの遮断機かを教えていただいたら、JR四国に問い合わせることもできます。我々は、今日20時半ですぐ帰るわけではありません。地図を持ってきていますので、例えば、この道路が危なく感じるとか、ここの水路が危なく感じるとか、この遮断機は何とかならんかなとか、そういうお話をいただけたら、我々のほうでちゃんと動いていきますのでお伝えいただけたらと思います。

【男性】 サンルートの前なんです。駅から近いので再々あるんです。

【市長】 サンルートさんの前はまさに鉄道高架化で完璧に遮断機がなくなりますので、我々もできるだけ急ぎたいと思います。

【男性】 この周辺の住民が、一番関心があるのは、鉄道高架事業じゃないかと思います。やっと取りかかっていたいただいて、当初、区画整理事業もフライブルク通りぐらいまで計画されたと思いますけれども、それが半分ぐらいになったと。それは仕方ないと思うのですが、その後、高架事業のほうが、完成年度が当初は国体に合わせて平成28年度というのが1回延期になりました。平成32年だったですかね。それからまた4年先に延ばしたと。それも鉄道高架事業だけですよね。高架事業と駅前周辺整備は別物ですから、よく私もいろんな会に出て問い合わせをするんですけども、県とか市とかJR

が絡んでいるからなかなかですよとか、用地の買収がどうか、言われますが、これ以上先延ばしにされたら、私が生きているうちには完成しないんじゃないかと思うんです。ですから、必ず平成36年度には高架事業だけでも完成をさせていただきたいと思います。それから、JRの駅自体もいまだに計画が白紙状態で、いつ聞いてもまだ計画ですということですが、何ができてどう変わるかが皆さんが一番知りたいんじゃないかと思うんです。それと、操車場のところも市民会館に代わるような施設ができることも聞いていますけれども、いつどのようなものが具体的にどうなるのかということも、まだ検討段階ということで、あまり具体案が出ていないのが現状ではないかと思っておりますので、スピード感を持って、工期を必ず守っていただいて、実施させていただきたいと思っております。

【市長】 私も早く完成させたいです。皆さんの笑顔が見たいです。首長の立場からすると、一刻も早く完成させたいというのが正直なところなんです。私からできるだけ分かりやすく説明させていただいて、その後、担当から詳しくご紹介させていただきたいと思っております。ご存知の方も多いと思っておりますが、愛媛県が鉄道高架事業、松山市が周辺の土地区画整理事業を担当しています。松山駅構内にある車両基地や貨物駅を伊予市、松前町に移転する準備を進めています。また、松山駅と新車両基地を結ぶ回送列車の行き違い線などの増設工事もおおむね完成しました。昨年度からは、鉄道の高架本体工事に着手しています。松山市の土地区画整理事業ですが、駅西側の住居利用が多い地域は、道路や宅地造成の工事が完了して、地権者の皆さんの住宅建設が進んでいます。2年前には、全体が更地でしたが、この2年間で、家や集合住宅が立ち並びました。事業をする前の、道幅の狭いころと比べると見違えるようなまちになっています。また、駅西側の造成した更地に、新本村集会所を整備して、4月8日に落成式を行いました。今日、お越しの池田美恵議員さんもお越しになっていました。私も行かせていただきましたが、今後は集会所の北に公園を整備する予定です。今年度からは、駅東側の地域でも工事に着手する予定です。また、魅力ある松山駅周辺地区としていくために、地区内の地権者等が共通してまちづくりに取り組むべき姿勢や基本的なルールをまとめた、まちづくりガイドラインを昨年7月につくりました。さらに今年4月には、ガイドラインにある景観の取り組みを行うための景観計画を策定しました。詳細については、担当からご説明いたします。

【松山駅周辺整備課長】 松山駅周辺整備課長の徳本でございます。スライドをご用意させていただきましたので、簡単に事業概要をご説明させていただきます。画面は、松山駅周辺整備事業の全体計画図です。オレンジ色で示した南北の線は、愛媛県が行っているJR松山駅付近連続立体交差事業、通称、高架事業です。赤色で囲んだところが、松山市が行っている土地区画整理事業です。これらの事業により、松山駅付近での予讃線約2.4kmの高架化に合わせて、新駅を囲むように幅員30mの都市計画道路を配置します。そのほか、愛媛県が行う道路幅34mの街路、松山駅西口南江戸線の整備に合わせて、現在は駅前交差点を通過している路面電車をJR松山駅へ引き込み、さらに

西側に約700mを延伸する計画があります。次に、松山駅周辺土地区画整理事業の概要です。施行面積が約16.7ha、概算事業費が289億円、大型のプロジェクト事業となっていて、完成予定は平成38年度です。今後の施工予定は、図のとおりです。まず、住居系の第1期区域の造成はすでに完成しています。現在、松山駅の敷地に関係のないところが中心の第2期区域を整備しています。今後、松山駅の敷地に関連する第3期区域は、前半に民間の所有地などを平成35年度までに整備し、また、後半には、JRや公共用地中心に平成38年度までに整備することで、なるべく民間の皆さんの土地を早く利用できるようにしたいと考えています。最後に、連続立体交差事業の施行者は愛媛県ですが、簡単に概要をご説明します。現在、電車が走っている線路で営業しながら西側に高架を施工する計画になっています。JRの電車を止めることはできませんので、高架事業をしながら在来線の電車も運転をしていくかたちで、昨年度から一部区間で工事に着手していて、平成36年度に事業が完成する予定と愛媛県から伺っています。先ほどご質問の中で4年延びたという話がありましたが、車両基地と貨物駅は、伊予市、松前町に移転します。その移転先に包蔵地外ではあったのですが、埋蔵文化財が出たということ、また高架事業の用地取得が長期化した状況で、高架事業が延びています。今日、いただいたご意見は改めて愛媛県にお伝えしたいと考えています。

【市長】 遅れた理由は大きく2点ですかね。

【松山駅周辺整備課長】 基本的には愛媛県が発表したのは、用地取得の長期化です。その前段に平成27年の車両基地移転の時期が平成31年に延びたという経緯も過去にありましたので、全体的なことを踏まえて、延びているという状況です。

【市長】 愛媛県さんもできるだけ早く事業を進めたいと思っているのですけれども、埋蔵文化財が出てしまうと、壊してしまうことができませんので、ちゃんとルールにのっとって、やっていかないといけません。用地取得のこともあって、そのような段階ではありますけれども、愛媛県さんも松山市もできるだけ早くしたいと思っています。JR四国はいつごろ駅を新しくしてくれるのかというご質問もありましたが。

【松山駅周辺整備課長】 松山市の松山駅周辺笑顔あふれるまちづくり推進協議会の中で、JRさんや伊予鉄道さん、国、警察等と話をする機会があります。その中でJRさんの方にもできるだけ早く計画をお示しいただけるようにお伝えをしており、今後、賑わいづくりになる施設を検討したいというご意見はいただいています、时期的なことは今の時点ではお話しはいただけない状況です。

【市長】 松山情報文化拠点として、ホールや広場を核とした整備をする予定になっています。私も松山市長の仕事をさせていただいていますので、今治市の駅も立派だなとか他のところの駅も立派だなと、やっぱり自分の街に対する愛着が一番深いですから、早くいい松山駅をつくりたいなと思っています。「わしが生きている間にできるんじゃないか」みたいな方も確かにいらっしゃるんですけど、元気でいてください。新しくなった松山駅を見ていただいて、利用していただきたいと思いますので、どうぞよろしくお

願いいたします。

【女性】 私の子どもは共働きをしていて、孫が学童保育でこの3月まで3年生でお世話になっていたのですが、4年生になってからは、学校を出るのが4時半ぐらいなので、親が帰る5時過ぎまで30分ぐらいは一人でゆっくりしたいとか言って、学童保育には普段のときには行っていません。「長期の休みのときはどうするの」と聞いたら、長期のときは学童保育に入れると聞いたので安心してしています。そういう制度ができましたので、これからもよろしく願いいたします。

【保健福祉政策課長】 新玉地区については、児童クラブが3クラブあります。今、現在124名ほどの方がいらっしゃいます。

【女性】 雄郡なんです。

【保健福祉政策課長】 各地区には児童クラブが3カ所、多いところで4カ所あります。長期の休みのときも、利用料はいただくようになっていますけれども、児童クラブを利用できるようになっていますので、ご利用いただければと思います。

【男性】 千舟町の交通ですけれども、自転車道を整備できずにラインみたいなものができていると思うんです。左側を走ってくださいと言われますが、あれをずっと走っていると途中で途切れるところが何か所かあって、東側からだとも196号をまたげない状態になります。そのあたりを整備する計画はあるのでしょうか。

【市長】 どの辺になりますか。

【男性】 花園町より西の方は、ほぼスムーズに走れるんですけど、そこから街中に向けて東向きです。市駅に向いて入る場所とか、千舟町通りだけの話ですけれども、途中で途切れています。

【都市・交通計画課長】 松山市では、自転車の安全・快適な利用に向けて、平成25年8月に自転車走行に関するネットワーク計画を策定して、それに基づき市の中心部や自転車の通行量が多いところから整備を行っています。先ほどご指摘のありました箇所は、担当課で確認させていただきたい部分がありますので、持ち帰らせていただいて、後日、回答をさせていただきたいと思います。

【男性】 高校生が特に多いですが、自転車に乗りながらスマホをいじっている子がたくさんいます。自分も1回、当たりそうになったことがありましたので、これは教育委員会にお願いをしたいのですが、走行中はスマホをいじらないということ徹底をしないと、事故が起きてからでは車が悪いことになりますから、よろしく願います。

【市民部長】 確かに高校生あたりが、たまに携帯をいじっている様子を見受けます。ヘルメットをかぶっているのは高校生が多いですけれども、そういう指導も必要かなと思いますので、市の教育委員会を通じて県の教育委員会に指導の徹底をお願いするよう

にします。一度持ち帰らせてください。

【市長】 最後に、私からお話をさせていただきます。これからJR松山駅は確実に良くなっていきます。ちょっとお待たせをしている部分がありますけれども、本当に工事にご協力いただいて、ありがとうございます。遮断機で駅が東西に分断されていて、以前は消防車や救急車が入っていけないような狭い道もあり、駅もだいぶ古くなっていましたので、JR松山駅の周辺整備事業や高架化を進めているところですが、今、仕事をさせていただいて、松山の特徴を捉えて政策を打っていくことが大事だなと思います。今日は、自転車の話が出ていましたけれども、松山坂がいっぱいのもちだったら自転車は適さないですね。松山が、関東平野のようにだだっ広いまちだったら、自転車だとしんどいと思います。でも、松山というのはお城を中心として半径5kmで円を描くと、大体の物が入るコンパクトシティと言われていています。ですから、自転車に適しています。松山が雪がものすごく降るまちだったら、自転車は走れないですね。雪もほとんど降らない、晴れの日が多いということで、ものすごく自転車に適したまちだと思います。松山市はドイツのフライブルク市と姉妹都市で、市内にもフライブルク通りがありますけれども、ヨーロッパに出張をさせていただいたときに、日本は周りに海がありますから、海は温度変化が緩やかですが、ヨーロッパは温暖化がかなり進んでいます。昔は、ヨーロッパはクーラーなんてなかったようですが、熱波でお亡くなりになられる方が出てきているくらい、ものすごく気温が上がっていると伺っています。CO<sub>2</sub>の削減をすることは地球温暖化も防ぎます。自転車はCO<sub>2</sub>も出ません。そういったことから、松山市は、遅い交通っていうんですけれども、歩きやすいように、自転車も通りやすいようにしようとしています。

新玉の方々は中心部で便利が良くていいなと思うんですけど、路面電車はわずか17都市しか走っていないんです。全国には市の数がおよそ800、町の数がおよそ800、村の数がおよそ200、合わせて1,800市町村があったのが、合併で減って1,700のうちの17都市しか走っていないんです。100分の1の都市の割合でしか、路面電車は走っていないんです。「昔は国鉄が走りよったけど、もう廃線になってな」というまちがありますが、新玉地区はすぐそばにJRが走っています。高浜線、横河原線、郡中線が走っています。すごく松山は公共交通が充実しています。あるバス停に行ったら、「どこどこ行きのバスは何分後に来ます」というバスロケーションシステムがありますが、あれも松山が比較的早く日本でも導入したものです。バスの路線も比較的充実しています。タクシーも公共交通の一つに数えられますけれども、「うちの町にはタクシーが昔はあったんやけど、もうなくなってな」みたいところもあります。公共交通が発達しているまちなので、それを活かしたまちづくりをすることが大事ではないかなということで、さまざまな事業を進めているところです。今日、意見が言いにくかったなという方は、松山市には市長へのわがまちメールという直接のメール制度もあり

ますので、どうぞ声を寄せてください。常に言っているのは、市民の皆さんの役に立つところで市役所だと思っていますので、どうぞ、皆さんには声を伝えていただけたらと思います。「どうせ市役所に言うたって何も変わらんのよ」ではなくて、言っていたら「いや、このやり方ができますよ」とか「このやり方はできないですが、こういうやり方ならできますよ」とか「他の地区ではこうやっているんですよ」というような情報提供もできますので、どうぞ遠慮なく市役所を使っていただけたらと思います。8時半を過ぎました。今日は平日の出にくい時間帯だったと思いますけれども、ご参加いただきまして誠にありがとうございました。これからも声をあげ続けていただいて、教えていただきたいと思っています。今日は本当にありがとうございました。

—了—